



淡路駅付近連続立体交差事業だより Vol.12

～崇禅寺駅から淡路駅間で行われている工事を紹介します～



◆崇禅寺駅から淡路駅間で行われている工事の紹介

今回は、崇禅寺駅から淡路駅間で行われている工事について紹介します。

この区間は、事業区間 7.1km を 1～8 工区に分割した中の 2 工区になります。※

※詳細の位置については「事業だより Vol.07(H25.02)」を参照してください。

○直上施工機の設置

崇禅寺駅から淡路駅間では、現在の線路の真上に直接高架構造物をつくる「直上(ちよくじょう)工法」により工事を進めています。※

※工法については「事業だより Vol.02(H24.01)」を

参照してください。

右の写真は、直上工法に使用する直上施工機です。現在、崇禅寺駅付近に設置され、この直上施工機が各作業(基礎・柱工事等)ごとに淡路駅方向へ移動し、線路の真上に高架構造物をつくっていきます。

直上施工機 (崇禅寺駅方向から)



○直上施工機と現場周辺の説明

直上施工機は、高さが約 26m あり、両側のクレーン 2 基により、高架構造物建設に必要な資材を吊り上げて工事を行います。

また現場周辺では、阪急電鉄京都線の西側側道を工事ヤードとして一部使用するため、交通規制を南行き一方通行に変更しました。

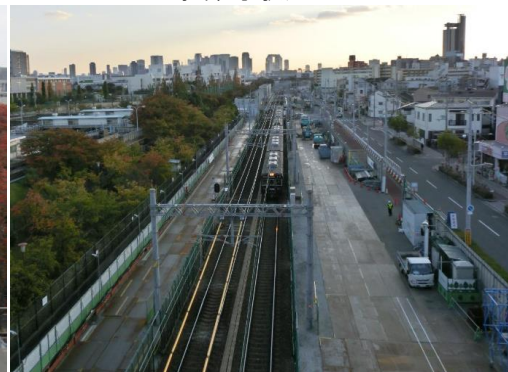
これに伴い、近接する都市計画道路歌島豊里線と十三吹田線の道路形態についても、一部変更しています。

工事現場の周辺は、交通規制や道路の形態が変わっているところがありますので、注意してご通行ください。

施工状況イメージ図 (淡路駅方向から)



直上施工機からの工事現場の様子
淡路駅方向 崇禅寺駅方向





発行 平成 26 年 12 月

発行者:大阪市建設局

淡路駅付近連続立体交差事業だより

Vol.12

～崇禅寺駅から淡路駅間で行われている工事を紹介します～



◆出前講座・現場見学会の様子

前回の事業だよりでは、東淡路小学校と西淡路小学校の3年生児童を対象に実施した出前講座と現場見学会の報告を行いました。その様子が、事業だよりをご覧いただいている方々に少しでも伝わるよう、前回に引続き当日の写真を掲載します。児童達の熱心な様子が、ご覧いただけるかと思えます。

今後も、事業の目的・効果などの理解促進や安全啓発のため、継続して取り組みを進めていきたいと考えています。

出前講座の様子



高架構造物の上で説明中の様子



高架構造物の上で見学している様子



○×クイズの様子（左の写真では○と×の境目で考えている児童がいます）



高架構造物の上で見学している様子

